



甲運小だより

6号
令和3年9月15日
甲府市立甲運小学校
発行責任者 篠原 弘一

分散登校へのご協力

ありがとうございました！

8月27日（金）に2学期が始まりました。

しかし、2週間は分散登校となり全校を約半分ずつに分けて学習を行いました。前回もお知らせしたように、その間、子供たちの一生懸命に学習している姿から、頑張っている様子がとても伝わってきました。運動会もまだどうなるかわからない時期でしたが、できる範囲で、しっかりと練習していました。また、もう一つのグループのみんなへ思いを伝えようと、黒板にメッセージを残していたクラスもありました。保護者の皆様にも分散登校へのご協力本当にありがとうございました。いよいよ9月13日から全校そろって学校がスタートします。子供たちの元気な声が戻ってきました。何となく、子供たちの声も弾んでいる気がします。全員そろっての運動会に向けての練習も力が入ってきました。きっと子供たちは最高のパフォーマンスを見せてくれると思います。

しかし、コロナウイルスの心配が終わったわけではありませんし、以前と同じというわけにはいきません。運動会の実施についてもきっといろいろなお考えがあると思いますが、学校としましては、子供たちと感染症対策を十分にとり、短時間ではありますが、子供たちの思い出に残るようなものにしていきたいと思っています。ぜひ、保護者の皆様にも、より一層感染の予防にご協力をお願いいたします。

カラーでご覧になりたい

方は右の QR コードから

甲運小学校のホームページへ

日々の様子も合わせてご覧ください。



オリンピック・パラリンピックから ～多様性について～

一年の延期を経て、東京オリンピック・パラリンピックが終了しました。テレビ観戦が中心でしたが、新聞に載る写真一つ一つにいろいろな思いがわいてきました。開催の可否や賛否は分かれるところですが、選手一人一人から伝わる感動は何よりも素晴らしいと思いました。また、東京大会は多様性を感じ、これから大切にしていくなような大会だったと思います。国や男女の違い、社会習慣や体の特性など、一人一人違っていても違いを認め合い、自分らしさを大切にしてい、改めてそんなことを考えさせられた大会でした。保護者の皆様はどのようにお感じになりましたか。難しい話ですが、子供たちにも伝えたいことだと思えます。

